

◆セミナー開催のお知らせ◆

「VoIP 通話品質テストと最適化について」
「スマートホームの音声テストについて」

講師：Dr.ハンス・W・ギアリッヒ 氏

ヘッドアコースティクス GmbH 社長

2017年11月1日
通信品質委員会

◆日 時：2017年12月7日（木）14：00～16：00

◆場 所：一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会 会議室

港区浜松町2-2-12 JEI 浜松町ビル3階 / TEL：03-5403-9354

◆主 催：通信品質委員会

◆対 象：一般公開 / 参加費：無料

■講師紹介（敬称略）

Dr.ハンス・W・ギアリッヒ

ヘッドアコースティクス GmbH 社長 兼テレコム・ディビジョン長

3GPP、ITU-T、CTIA、GSMA、ETSI STQ、Bluetooth ASG において音声品質関連のすべての活動に従事。テレフォノメトリーにおける音声品質テスト技術を担当するITU-T SG12/Q.6 にてラポータとして活動。ETSI の音声品質技術コミティ（STQ）の議長及び複数の ETSI 標準規格の部会にてラポータを務める。

* ITU-T SG12/Q6: 高度なテスト信号を用いた分析メソッド

■講演概要

1. VoIP 通話品質テストと最適化について

従来型テストヘッド（疑似耳・疑似口）との比較による HATS のアドバンテージ

- ・聴感が捉える電話機の音声品質は従来型のテストヘッドでは正しく測定ができません。電話機の形状変化に伴い従来型の疑似耳ではハンドセットにフィットせず音響漏れが生じる為実際には発生している低域のエネルギーを測定できないからです。これに対し人の耳を模した HATS の疑似耳は実際の使用条件を大変良くシミュレートできていることから早くから ITU-T にて標準規格化されています。HATS を用いるメリットにつきデモを交えながら説明して参ります。

2. スマートホームの音声テストについて

- ・暮らしをサポートする様々なアイテムを音声により操作できるスマートホームの普及が予想されます。スマートホーム・デバイスとしてハンズフリー通信を伴うものなど様々なタイプのオーディオ・デバイスが考えられます。室内音響やバックグラウンドノイズのシミュレーションを伴った音声品質テストや音声アシスタント機能の音声認識テストについて説明致します。

※基本的に英語で進行致しますが逐次和訳を致します。発表資料の和訳版を配布致します。

Q&A はヘッドアコースティクス日本法人スタッフが通訳を致します。

※ 本セミナーに参加ご希望の方は <https://cp11.smp.ne.jp/ciaj/seminar> よりお申込下さい。但し、定員になり次第締切といたします。

※ ご提供頂きました情報は、当協会が今後主催する同様の交流会、委員会又はセミナー等のご案内、書籍・報告書等の発刊のご案内等に利用させていただく場合がございますので予めご了承下さい。尚、以上について不都合がございます場合は、事前にご連絡賜りますようお願い申し上げます。

以 上